

# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://www.japanphil.or.jp>

チケットご予約・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(平日10時~17時) FAX.03-5378-6161(24時間)

E-MAIL : [order-ticket@japanphil.or.jp](mailto:order-ticket@japanphil.or.jp)



日本フィルハーモニー交響楽団 <こんな活動をしています>

2019年度活動報告

[Triptyque トリプティック第15号]

編集・発行 (公財)日本フィルハーモニー交響楽団 2020年7月

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311 [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp) office@japanphil.or.jp



©山口 敦

## 日本フィルハーモニー交響楽団 こんな活動をしています (2019年度活動報告)



Triptyque  
トリプティック  
Vol.15

# 2019年度活動の概要

## ご挨拶

2019年度は、楽団にとって13年ぶりとなるフィンランド、ドイツ、オーストリア、英国の4ヵ国を回る計10公演の第6回ヨーロッパ公演が行われ、大きな成果を得ました。特にフィンランドは、生誕100年を迎えた創立指揮者・渡邊暁雄のゆかりの地であり、外交関係樹立100周年の記念の年に、日本フィルが初めて演奏会をするという歴史に残る公演となりました。

厳しい日程ではありましたが、インキネンとの音楽上の絆を深め、日本フィルの高い芸術性をアピールすることが出来ました。また全く異なる演奏環境でのツアーや経験は、楽団の演奏力、表現力、芸術性を一段と高め、楽団・楽員にとって大きな財産となりました。

この一年は、オーケストラの持つ社会的役割をより鮮明に打ち出し、「芸術性」と「社会性」を兼ね備えた楽団として、より一層の成長を目指しました。その音楽活動の原点ともいえる「九州公演」「夏休みコンサート」はそれぞれ45年の歴史を刻み、東日本大震災の

被災地での支援活動も、延べ293回を数え着実に継続しています。この実績が実り、「文化復興プログラム」としての「東北の夢プロジェクト」を文化庁の委託事業として盛岡で開催しました。今後もさらに発展させていく予定です。

2020年に入り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これらの着実な成果が突然分断されることとなってしまいました。2月29日の演奏会の中止を皮切りに6月末までの中止・延期公演は47公演、2020年度の財政面に甚大な損失を生むことが予想されます。これまで築いてきた楽団の演奏力、経済力、お客様や支援者との絆、といったあらゆる面で深いダメージを受け、未曾有の危機を迎えつつあります。

文化の継続と演奏家を守るために、皆様のさらなるお力添えを切に必要としております。引き続きご支援、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人  
日本フィルハーモニー交響楽団

理事長 平井俊郎



## 【2019年度総括】

### (1)芸術性の追求

2019年度はこれまで継続的に共演している指揮者陣を中心に演奏会を行ってまいりました。首席指揮者インキネンは、伝統ある「バイロイト音楽祭」での指揮、しかもワーグナー：ニーベルングの指環全曲（新演出）の指揮を託されるという大きなうれしいニュースが入りました（コロナ禍の影響で2022年に延期の見込み）。

東京・横浜定期演奏会においては、将来を見据えて、積極的に初共演の指揮者を登用いたしました。定

### (2)社会性の拡充

オーケストラが演奏力以外でも蓄積してきた知見とスキルで、社会に果たす役割をより広げていくことを指しています。日本フィルの持つ「温かさ」を發揮し、あらゆる人へのオーケストラ・コンサートへのアクセスの拡大に引き続き努めました。

地域の人たちと共につくる「九州公演」や、子どもと家族と一緒に楽しむ「夏休みコンサート」はいずれも45年の歴史を刻みました。また、熊本など被災地への音楽による復興支援も継続、とりわけ東日本大震災被災地における「被災地に音楽を」の取り組みは累計293回を数えました。2019年度は新たに「東北の夢プロジェクト」としてオーケストラ公演もスタートしました。

2018年度からスタートした落合陽一（メディアアーティスト、筑波大学准教授）らとのプロジェクト（《耳で聴かない音楽会》、《変態する音楽会》）では、最新テクノロジーとオーケストラとの共演を実施しました。これらは単なるコラボレーションではなく、障害者への働きかけも含めた福祉と芸術が高次元で結びついたものであり、まさに新しい時代の音楽の在り方を模索した傑出した成果といえるでしょう。

期演奏会以外の自主公演においては、クラシックの普及を意識し、より幅広い層にお楽しみ頂くための公演づくりに努めました。また将来に目を向け、若い世代や海外のアーティストも出来る限り積極的に出演していました。常に演奏力の向上を目指し、一般にはまだ知られていないアーティストや作品でも、その魅力を効果的に発信し、チケットの販売促進につながるように努力を重ねてまいります。

ティスト、筑波大学准教授）らとのプロジェクト（《耳で聴かない音楽会》、《変態する音楽会》）では、最新テクノロジーとオーケストラとの共演を実施しました。これらは単なるコラボレーションではなく、障害者への働きかけも含めた福祉と芸術が高次元で結びついたものであり、まさに新しい時代の音楽の在り方を模索した傑出した成果といえるでしょう。

### Data 2019年度活動回数一覧

|                   | 主催 | 受託（共催含む） | 計        |
|-------------------|----|----------|----------|
| オーケストラ公演          | 82 | 60       | 142      |
| 室内楽公演（*「被災地に音楽を」） |    |          | 255(*41) |

\*オーケストラ公演は（主催・受託）全14公演が中止

を見る必要がありますが、最終損失106百万円、期末正味財産は54百万円となりました。

しかし2020年度を展望すると、7月末迄に約70公演が中止、その後も厳しい制約の中で徐々に演奏会を開催していくことになります。2020年度は大きな損失を抱え、楽団存続の危機を迎えることになります。財政再建にもう一度向き合わなければなりません。

### 【経営の総括—財政基盤強化】

2019年度はヨーロッパ公演、深化する被災地活動等々「芸術性」「社会性」を存分に發揮した活動が展開され、事業規模は16.1億円に達しました。しかし新型コロナウイルス問題発生で、2020年2月29日より3月末迄のオーケストラ公演（主催・受託）全14公演が中止になり、室内樂等も2月から3月末までに9公演が中止となりました。

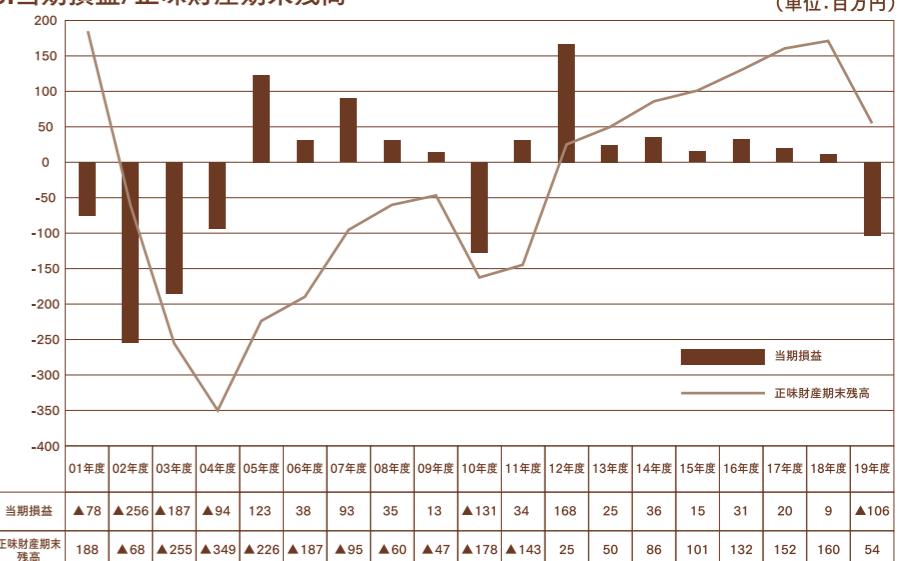
2019年度の財政は、①ヨーロッパ公演の支出、②退職給与引当金対応、③新型コロナウイルスによる損失

### Data 2019年度経営報告

#### 1.貸借対照表 (2020年3月末現在、単位:千円)

| 科 目        | 金 額     |
|------------|---------|
| I.資産の部     |         |
| 1.流動資産     | 329,171 |
| 2.固定資産     | 148,817 |
| 資産合計       | 477,988 |
| II.負債の部    |         |
| 1.流動負債     | 280,877 |
| 2.固定負債     | 142,575 |
| 負債合計       | 423,452 |
| III.正味財産の部 |         |
| 正味財産合計     | 54,536  |
| 負債及び正味財産合計 | 477,988 |

#### 3.当期損益/正味財産期末残高



# オーケストラ・コンサート～伝統の遵守と新たなレパートリーの拡大～

首席指揮者ピエタリ・インキネンを軸に、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹、ミュージック・パートナー西本智実（任期は2019年8月末で終了）という国内でも屈指の盤石さを誇る指揮者陣とともに、芸術的充実と技術の向上を第一義に演奏活動を展開。伝統の遵守と新たなレパートリーの拡大という、これまでの在り方を着実に堅持出来たと考えています。



首席指揮者  
ピエタリ・インキネン  
©山口敦



桂冠指揮者 兼 芸術顧問  
アレクサンドル・ラザレフ  
©山口敦



桂冠名誉指揮者  
小林 研一郎  
©山本倫子



正指揮者  
山田 和樹  
©平館 平



ミュージック・パートナー  
西本 智実  
©塩澤 秀樹

## 【ヨーロッパ公演など】

2019年に行った13年ぶりとなった北欧を含む全10公演のヨーロッパ公演では、今の日本フィルが誇る豊かな音楽性を存分に世界へアピールできました。インターネットを活用したライブ配信を行うなど、これまでにない取り組みを行いました。なかでも創立指揮者渡邊暁雄のゆかりの地であり、またインキネンの故郷でもあるフィンランドで開催した2つの公演は「日本・フィンラ

ンド外交関係樹立100周年記念公演」として実施。併せて6月にはサントリーホールにおいても外交関係樹立100周年を祝う特別演奏会を開催しました。このほかオーストリア・ウィーン公演では両国の友好150周年、イギリス公演では日英文化季間の後援をいただきました。 p10

## 【定期演奏会】

### 《東京定期演奏会(サントリーホール、金曜日/土曜日2回公演)》

近年固定している指揮者陣（インキネン、ラザレフ、小林研一郎、山田和樹）と広上淳一に加えて、今シーズンは2018年度にも共演したドイツの中堅アレクサンダー・リープライヒと、1986年シンガポール生まれの新鋭カーチュン・ウォンが初登場する予定でした。しかしながら新型コロナウイルスに起因する国からの公演自粛要

請に基づき3月公演（カーチュン・ウォン指揮）は中止となりました。そのような中でもプログラム面では今回も日本初演作を含むバラエティ豊かな内容を誇り、各指揮者が最も得意とする作品を並べました。オペラや日本フィル・シリーズの再演と新作初演、「日本・フィンランド外交関係樹立100周年」関連企画など、例年以上に充実した内容となったと自信しています。

### 《横浜定期演奏会(横浜みなとみらいホール、各回土曜日)》

クラシック初心者からヘビーリスナーまでを対象としたバラエティ豊かな企画を実施し、単なる「名曲コンサート」に陥ることなく常に芸術的成果も求めました。伊福部昭や井上道義といった現代邦人作品や「日本・フィンランド外交関係樹立100周年」を記念したインキネンとのオール・シベリウス・プログラム（交響曲第5番ほか）などは、定期ならではの楽しみだったと言えるでしょう。首

席指揮者インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林らの指揮者陣と、実力と人気を兼ね備えた独奏者を中心に、港の夜景が美しい夕方の横浜に相応しくエンターテイメント性と芸術性の双方を備えたプログラムを提示できました。それだけに新型コロナウイルスの影響による3月公演中止は聴衆にとってもオーケストラにとっても極めて残念な事態となりました。

## 【その他の主催演奏会(首都圏)】

幅広い聴衆育成とクラシック音楽の普及を目指し、多彩な公演事業を行いました。小林研一郎との「コバケン・ワールド」「第九特別演奏会」は、たいへん人気を博すシリーズとして定着しており、日本フィルの特徴ともいえる公演として認知されています。他にも「名曲コンサート」、「サンデーコンサート」、「特別演奏会」等でさらなるクラシック音楽の普及に取り組みました。なかで

も創立指揮者渡邊暁雄の生誕100周年を記念した公演（6月22日）は、愛弟子藤岡幸夫の指揮によってシベリウス作品を中心に、偉大なマエストロへ捧げるオマージュとなりました。また奇しくも6月22日は渡邊の命日であり団の創立記念日であったことに加え、上皇上皇后両陛下のご臨席を賜るなど大変印象深い公演となりました。 p13

化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）、企業主催による公演なども引き続き活発に出演しました。また、山口県宇部市における宇部興産主催公演では、オーケストラ・コンサートを軸に、日本フィルの「三本柱」の活動を推進することにより、音楽を通して企業・自治体とともに広く地域に貢献しました。

の評価が音楽関係者に流入するなど注目が広がりました。2017年、2019年に続き、3回目となる「がん患者さんと歌う第九チャリティコンサート」は2022年に開催が予定されており、準備を進めております。（主催：公益財団法人がん研究会／がん研有明病院）

## 《共催公演・受託公演》

友好提携を続いている杉並区、および杉並公会堂との共催による「杉並公会堂シリーズ」など区内各公演、「さいたま定期演奏会」、「府中どりーむコンサート」シリーズ（府中市）、「相模原定期演奏会」に継続的に出演・開催しました。このほか、学校公演、文化庁主催「文

## 《音楽を介した社会との多様な関わりを拓げる事業》

「テクノロジーによりあらゆる人々と音楽の愉しみを分かち合う」ことを目指す、メディアアーティスト落合陽一（筑波大学准教授）とのプロジェクトは、オーケストラ公演を2回開催しました。文化庁「日本博」の初の助成を得るなど、広く社会の関心を集めることができ、そ

## 【演奏会評】

（略）ヨーロッパ公演を終了してのプログラム。ツアーより、2名のソロ・コンサートマスターと2名のソロ・チェロが居並び、いやが上にも期待が高まる。最初に据えられたのは武満作品。（中略）精妙に揺れ動く浮遊感を湛えつつ透徹した弱音がじつに美しい。（中略）次いで、ジョン・リル（p）を迎えてのベートーヴェン。彼のピアノは、思索性に富みながら豊饒として揺るぎない。加えて脱力が効いた透明感が際

立ち、その響きには遠達性も。まさに錬磨された曇りのないピアニズム。（中略）帰国後間もないフィンランドの空気感が伝わるシベリウス「第2番」は鮮度も高く、おおらかな弧線を描く運びとともに圧巻のひとこと。以前にも増して個々のセクションが俊敏に呼応する一体感を聴かせたのは特筆。ヨーロッパ公演を経て、日本フィルの深化と充実ぶりを実感。

（音楽の友2019年6月号より転載 高山直也）

## Data 2019年度オーケストラ公演の内訳

| 主催公演      | 公演数       | 入場者数(約) |
|-----------|-----------|---------|
| 東京定期演奏会   | 18(2公演中止) | 25,500  |
| 横浜定期演奏会   | 9(1公演中止)  | 14,000  |
| 名曲コンサート   | 4(1公演中止)  | 6,700   |
| サンデーコンサート | 5(1公演中止)  | 8,500   |
| コバケン・ワールド | 3         | 5,300   |
| その他       | 8(2公演中止)  | 10,000  |
| 夏休みコンサート  | 18        | 27,000  |
| 「第九」特別演奏会 | 6         | 10,700  |
| 九州公演      | 10        | 9,000   |
| 特別演奏会     | (1公演中止)   |         |
| 計         | 82        | 118,100 |

| 受託公演       | 公演数       |
|------------|-----------|
| 一般公演(共催含む) | 32(7公演中止) |
| 音楽教室/学校公演  | 18        |
| 海外公演       | 9         |
| 録音         | 1         |
| 計          | 60        |

# エデュケーション・プログラム ~音楽との出会いの場を広げる~

音楽との出会いを通じて人や社会がより一層豊かになるための取り組みとして、日本フィルは多彩なエデュケーション・プログラムを継続しています。近年は他のジャンルとのコラボレーションや、音楽を通じて異文化間の交流を促進するなど、その可能性をさらに広げています。

## 主な取り組み

### 【夏休みコンサート】

多くの子どもたちが家族とともにオーケストラの音楽にふれ、その情操を高めていくことを願い継続している夏休みコンサートは、今年で記念すべき45年を迎えるました。首都圏1都3県での17公演に加えて4年目となる京都でも開催し、多くのお客様をお迎えしました。

指揮者は気鋭の永峰大輔が初登場、司会者はこのコンサートの立役者とも言うべき江原陽子、共演はスターダンサーズ・バレエ団。第1部は本格的なクラ



開演前のウェルカム・コンサート



第1部より《雷鳴と電光》



第2部よりバレエ《シンデレラ》  
(スターダンサーズ・バレエ団)

### 【ワークショップと新しい学びの探求】

音楽を通じた新たな学びと気づきの可能性を広げるため、コミュニケーション・ディレクターであるマイケル・スペンサーの指導・監修のもと、長年にわたりワークショップ活動を継続しています。今年度は杉並区の主催により日本とネパールの子どもたちが参加する多文化共生ワークショップを開催、お茶をテーマにした音楽作りを通じて文化の相互理解を深めました。また、13年ぶりとなったヨーロッパ公演では、ヘルシンキでフィンランドの子どもたちのために「春」をテーマにしたワーク



杉並区主催多文化共生ワークショップ



「春」をテーマにしたワークショップ(フィンランド、コウヴォラ)



60歳からの学びカフェ「エデュカフェ」

### 【室内楽等による取り組み】

日本フィルの特長の一つである室内楽の演奏会では、楽員がそれぞれの個性を發揮し、選曲や司会などを工夫し本格的な音楽をリラックスして楽しめる機会を作り出しています。杉並区や埼玉県では毎年多数の学校や施設を訪問しています。また近年は多くに野外イベントやアート分野への進出など活動の幅は広がり続け、多くの人と音楽の出会いを作り出しています。六本木アートナイト「クラシックなラジオ



杉並区内小学校での演奏



杉並区内保育所での演奏



六本木アートナイト「クラシックなラジオ体操」

体操」では若い層を中心に音楽をより直感的・アート的に楽しむ可能性を開拓しました。

また、企業からの継続的なご依頼も多く、2019年度も武州ガス株式会社、富国生命保険相互会社、株式会社ネイチャーズウェイ、協和キリン株式会社、株式会社あおぞら銀行、株式会社そごう・西武、東海東京証券株式会社等から地域貢献活動としての演奏機会をいただきました。

### 【その他の普及・教育活動】

コンサートホールの舞台裏を案内しリハーサルを見学してもらう「オーケストラたんけん隊」、中高生にオーケストラの仕事場を見学してもらう「職場体験」、杉並公会堂での「公開リハーサル」、杉並区で楽員がグループレッスンを行う「60歳からの楽器教室」も継続して実施

しています。また、音楽の楽しみ方を分かりやすく伝えるプレトーク(東京定期での「本日の聴きどころ」、横浜定期での「オーケストラ・ガイド」)、シーズン・ファイナル・パーティ等を開催しました。



60歳からの楽器教室発表会



正指揮者山田和樹によるプレトーク

### Data 2019年度エデュケーション・プログラム、その他の内訳

|              |      |                    |           |
|--------------|------|--------------------|-----------|
| 夏休みコンサート(主催) | 18回  | インターンシップ           | 参加 21名    |
| 春休みオーケストラ探検  | 中止   | イベント               | 35回       |
| 学校・施設訪問コンサート | 47回  | アフターエベント(楽員との懇談等)  | 14回       |
| オーケストラたんけん隊  | 7回   | プレトーク(オーケストラ・ガイド等) | 18回(2回中止) |
| 公開リハーサル      | 4回   | ワークショップ            | 16回       |
| 職場訪問         | 3回   | クリニック              | 11回       |
| 60歳からの楽器教室   | 180回 |                    |           |

# リージョナル・アクティビティ ~地域のための音楽活動~

日本フィルは音楽の素晴らしさ、面白さをより多くの方に届け、地域全体の活性化に貢献する「リージョナル・アクティビティ」を活動の一つに据え、室内楽等によるきめ細やかな活動を行っています。新型コロナウイルス禍で社会全般に活動のローカル化が進む中、地域社会への貢献は、オーケストラにとって今後ますます大きなテーマとなっていくと考えています。

## 主な取り組み

### 【杉並区での活動】

杉並においては、日本フィルの活動の三本柱すべてにおいて、区・公会堂との連携を深めてきました。1994年に結んだ東京都杉並区との友好提携、また2006年リニューアルオープンの杉並公会堂との連携による活動は順調に継続されています。

来年度開館15周年を迎えるフランチャイズ・ホール杉並公会堂とは、これまでどおり「杉並公会堂シリーズ」ならびに「夏休みコンサート(受託)」を実施しました。

またホールとの共催で《春休みオーケストラ探検(エデュケーション・フェスティバルin杉並)》の継続開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により残念ながら中止となりました。しかし今後も杉並区民にクラシックの裾野を広げ、楽団の魅力を伝える機会と位置づけ、連携の力による内容のより一層の充実を図ってまいります。

区との活動では、今年度も杉並区内の高齢者に向けた事業「杉並区敬老会」コンサートを受託し、好評を博しました。また、杉並区の交流自治体である静岡県南伊豆町に初訪問し、町内2か所で室内楽コンサートを開催。多くの町民が来場し、地域活性化にクラシック音楽が有効であることを示しました。他にも小中学校や区内施設での出張音楽教室・出張コンサート、区民へのリハーサルの公開、区役所ロビーコンサートなど、区との友好提携に基づく事業を推進しました。



年4回行われる杉並区役所ロビーコンサート

区の日本フィルへの支援として、2017年度以降、「被災地に音楽を」に対し杉並区「ふるさと納税」(寄付金)を活用し応援頂くメニューが加わりました。3年目となる今年度は、この寄付金を活用しながら杉並区の交流自治体である福島県南相馬市を訪問しました。

また杉並区には、音楽による街づくりを目指す民間団体「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」が主催し区が後援する「荻窪音楽祭」が長年開催されており、日本フィルも制作・出演協力をしています。第32回を数える2019年の音楽祭では「被災地に音楽を」で支援を続けている南相馬市の原町第一中学校吹奏楽部を「みらい夢コンサート」に迎え、区内の中学生とともに日本フィルのメンバーが共演、音楽を通した地域交流と相互支援の橋渡しとなりました。また、子どもたちと日本フィル楽員が室内楽で共演する「フレッシュジュニア・コンサート」や、創立2年目となる子どもたちのオーケストラ「荻窪ユース・アンサンブル」への演奏指導も行いました。同アンサンブルは杉並区賀詞交歓会にも出演しました。

#### Data 杉並区との友好提携に基づく活動回数

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 杉並公会堂シリーズ [ 杉並区との友好提携による公演 ]* | 4  |
| 区役所ロビーコンサート                   | 4  |
| 公開リハーサル                       | 4  |
| 出張音楽教室                        | 9  |
| 公募出張コンサート                     | 6  |
| 区施設出張コンサート                    | 9  |
| 小中学校音楽鑑賞教室(オーケストラ)            | 8  |
| 区内ホール等のリハーサル使用                | 57 |

\*夏休みコンサート含む

#### Data その他杉並区での活動回数

|  |     |
|--|-----|
| 春休みオーケストラ探検                                | 中止  |
| 杉並公会堂シリーズ<br>[ 杉並公会堂(京王設備サービス)・日本フィル共催公演 ] | 2   |
| 60歳からの楽器教室                                 | 180 |

### 【九州公演】

九州公演は45周年という大きな節目の年を迎えました。自主参加の市民による実行委員会がボランティアで、日本フィルと協働してコンサートの制作・運営を行う、世界でも類を見ない“市民と音楽家による文化を創る協働プロジェクト”です。

例年どおり九州全7県で10公演を行いました。指揮は3回目の出演となる桂冠指揮者兼芸術顧問のアレクサンドル・ラザレフ。また、日本を代表する実力派であるヴァイオリニストの堀米ゆず子、ピアノの河村尚子をソリストに迎え、“東京でもめったに聴けない企画”と各方面で大きな話題となり、楽団員も心を合わせて演奏に臨み、連日きわめて質の高い充実したコンサートとなりました。開場時



唐津公演(唐津市民会館)

### 【宇部公演】

12回目となった「宇部興産チャリティコンサート」。毎年恒例の宇部興産株式会社の地域貢献活動として定着しています。今回は過去にも1度同公演を指揮したことのある梅田俊明と、ソリストには国内外で活躍し非常に多くのファンを持つ福間洸太朗を迎えました。今回の実施時期が台風15号の襲来と重なり、コンサート開催が大いに危ぶまれましたが、予定の交通手段やスケジュールを急遽変更することで、どうにか無事に終えることが出来ました。苦労の甲斐もあって演奏は非常に充実したものでした。

### 【京都公演】

2019年度も、ローム株式会社協賛・ロームミュージックファンデーションの助成によりロームシアター京都での主催公演を2公演開催しました。「小学生からのクラシック・コンサート」は3年目、「夏休みコンサート」は4年目となりました。

「小学生からのクラシック・コンサート」では、「心と体で楽しもう」をテーマに、体を動かしたり、クイズに答えるなど、参加型のプログラムを毎年新たに企画しています。今回はサン=サーンス作曲《動物の謝肉祭》をテーマに、音と運動の関係を分かりやすく解説。そして後半はナビゲーターを務める江原陽子のナレーションを交え、音楽物語としてこの作品を楽しんもらいました。



宮崎公演(メディキット県民文化センター)

のプレコンサートや終演後のサイン会では、お客さまと演奏者が身近にふれ合い、交流・親睦がより深まりました。

現在、福岡以外の地域では少子高齢化・人口減少などに伴う、クラシック音楽文化の停滞が各地の課題となっています。また、今回は文化庁からの助成金を受けすることが出来なかったことも、経済的に苦しい要因となりました。

財源の確保は重要な課題であり、楽団としてより一層の努力と研究が必要となります。

さらに、これまで培ってきた実行委員会との協働をさらに発展させ、日本フィルが核となって劇場や行政との連携を強める取り組みも進めています。

今後も、九州の地域社会の中で日本フィルが必要不可欠な存在として認められ、広範に支援されるよう、多彩な活動を継続いたします。



第12回宇部興産チャリティコンサート

また病院への訪問コンサート等をはじめ、地元FM局による公演の市内生中継等の実施なども継続的に行いました。音楽を通した地域貢献活動として日本フィルの活動の柱がすべて発揮される本公演を、今後も引き続き企業・自治体と一体となって積極的に展開してまいります。



小学生からのクラシック・コンサート(ロームシアター京都)

# 「インキン時代の日本フィル」、ヨーロッパ4か国10都市に大きな足跡

©山口敦

池田 卓夫 音楽ジャーナリスト@いけたく本舗

## 1)概要

日本フィルハーモニー交響楽団は2019年4月1日から16日の間に10都市を回る第6回ヨーロッパ公演をフィンランド人首席指揮者、ピエタリ・インキンとともに行った。2019年に日本とフィンランドの外交関係樹立100周年、日本フィル創立指揮者でフィンランド人を母に持つ渡邊暁雄の生誕100周年が重なる千載一遇の機会をとらえたものだ。ウィーンでは日本とオーストリアの友好150周年も兼ね、英國3か所の公演はラグビー・ワールドカップ日本大会から東京オリンピック、パラリンピックへの橋渡しを担う「日英文化季間」の参加プログラムに組み入れられていた。オーケストラ外交の典型ながら、意外にも、日本フィルが渡邊の国フィンランドで公演するのは初めてだった。

## 2)旅程とプログラム

ツアーは①首都ヘルシンキとインキンの出身地コウヴォラからなるフィンランド編、②ドイツ・ニーダーザクセン州ヴィルヘルムスハーフェンとヴォルフスブルク、バイエルン州レーゲンスブルクとフルト、オーストリアの首都ウィーンからなるドイツ語圏編、③ロンドン、リーズ、エディンバラの英國編----の3パートに分かれていた。

プログラムはメインの交響曲にシベリウスの第2番、チャイコフスキーの第4番、協奏曲に英國出身の20歳の新鋭シェク・カネー＝メイソン独奏のエルガー「シェク協奏曲」、ドイツ編が中堅のジョナサン・ビス、英國編がベテランのジョン・リルとソリストが入れ替わるベートーヴェンの「ピアノ協奏曲第3番」、日本・フィンランドの交流を象徴し、時にアンコールへと回る管弦楽曲にシベリウスの「交響詩『フィンランディア』」「悲しきワルツ」、インキンが世界初演したラウタヴァーラの遺作「In the Beginning」、武満徹「弦楽のためのレクイエム」。組み合わせを変えて「A」から「D」の4種を用意した。オーケストラと指揮者の力量を正直に示し、音楽を通じた文化交流の意義を問う素晴らしいメニューであり、ツアーの進行とともに、演奏水準を着実に切り上げていった。

すべての公演会場のロビーには、東日本大震災(2011年)の被災地で日本フィル楽団員が290回以上も地道に続けてきた音楽による支援、教育などの活動を紹介するパネルを展示した。開演前は事務所員が立ち会い、現地の聴衆の熱心な質問に対応。人と音楽、自然との触れ合いを大切にする楽団の姿勢は、演奏以外の場面にもあらわれていた。

## 3)フィンランド

豊田泰久氏が音響設計を手がけ、2011年に開場したヘルシンキ音楽センター(1,700席)での初日(4月2日)はリハーサル時間が極端に短かったこともあり、演奏の完成度よりは熱気で乗り切った。ヘルシンキで初めて落ち合ったカネー＝メイソンとインキン、日本フィルだが、いとも易々と楽器を操りながらも技が表に出ず、つねに人肌の温もりを感じさせるチェリストの歌心は管弦楽全体に即、なじんだ。インキンは音の出し方、感情のベクトルの方向性などでフィンランドのオーケストラと全く異なる持ち味の日本フィルの特色をフルに生かし、マッショウヴィルトゥオージティの高いシベリウスを試みた。あまりのテンションにヘルシンキでは演奏に傷も出たが、翌日のコウヴォラからはペースをつかみ、大成功を収めた。指揮者の出身地ということもあり、ツアー中ただ1回のアウトリーチプログラムもファシ

リテーターのトロンボーン奏者、伊波睦と弦楽四重奏、日本＝フィンランド語通訳の規模で実施。80人近い子どもが集まった。



©山口敦

## 4)ドイツ &amp; オーストリア

ドイツ語圏ではカネー＝メイソンのウィーン・デビューを兼ねたムジークフェライン(楽友協会)大ホール公演(8日)を除き、ピアノのビスがドイツ内4か所で共演した。フルト市立劇場だけがベーゼンドルファー、他3か所はスタインウェイだったが、それぞれの楽器の音色やタッチの軽重はかなり異なった。ビスはそれぞれの特色に即し、「ベートーヴェンのハ短調」を掘り下げる、同じ調性のモーツアルト「ピアノ協奏曲第24番」から受けた影響の部分を徹底して強調する、2人の作曲家の根底に流れるウィーン古典派の様式感を前面に出す…といったギアチェンジを巧みに行い、興味深かった。



©山口敦



## 6)英国

ロンドンとリーズはシェロのカネー＝メイソンの人気で売り切れ。若い聴衆も多かった。蓋を開ければシェロの内省的なソロに負けず劣らず、あるいはそれ以上に、インキンと日本フィルのシベリウスに人々は熱狂した。ロンドンからリーズまでは5時間のバス移動。そのままゲネプロ、本番をこなしてリーズには泊まらず、再びバス5時間の移動で北上、スコットランドの首都エдинバラのホテルにチェックインした時刻は、午前3時30分だった。日曜日で、アッシャーホールの公演はマチネ。しかもベートーヴェンの協奏曲のソリストが東京での凱旋定期と同じジョン・リルに替わるためゲネプロも必要と、過酷なスケジュールだったが、リルの絶妙な現場感覚と気遣いで最短時間の打ち合わせに終わった。本番はツアー中最高峰の出来栄えとなり、リルの独奏も味わい深い。現地メディアにも良い批評が出た。ツアー全体を通じ「日本のオーケストラ」に対する偏見を述べた論評は一切なく、「世界水準のアンサンブル」「管楽器の奏者の名人芸」など、すべて肯定的だった。参加者全員、寝不足も忘れて深夜まで、勝利の美酒に酔った。



©山口敦

ここまでパートのハイライトが、ウィーン公演だったことに疑いの余地はない。ツアー中の4月4日に20歳を迎えたばかりのカネー＝メイソンはウィーン・デビューに特段緊張する様子もなく、いつも通りに心のこもった音楽を奏でた。ただムジークフェラインの芳醇な音響と彼の暖色系のシェロの音色の相性が予想外に悪く、管弦楽に吸われがちになってしまったのは気の毒だった。

しかしながら、真のセンセーションはプログラムの最後に置かれたシベリウスの「交響曲第2番」。ゲネプロでホールの音響特性に合わせた微調整を入念に行なったのが奏功、出だしの柔らかく軽やかな響きに魅了されたのも束の間、ヘルシンキでインキンが仕掛けた「マッショウシベリウス」の実験がついに、予想を超えた成果を発揮はじめた。フレーズのエッジを明確に打ち出した後はムジークフェラインの音響に身を委ね、弱音を起点とした音楽を息の長いフレージングでじっくりと積み上げ、衝撃的な最強音の爆発へと導いていく。今回のツアーではソロ・コンサートマスターの木野雅之、扇谷泰朋、ソロ・チェリストの菊地知也、辻本玲とトップ2人がつねにそろって舞台に乗り、万全の態勢で臨んでいる。特にシェクセクションの音の厚みはアンサンブル全体のかなめとして機能しており、ヴィオラとコントラバスの音の輝きにも貢献するところが大きかった。

アンコールではさらに、「悲しきワルツ」「交響詩『フィンランディア』」とシベリウス2曲が奏でられ、聴衆の興奮はピークに達した。もちろん、ブラヴォーも盛大に。演奏に参加した全員が「ウィーンの成功」ではなく「音楽への奉仕」の思いで溶け合い、シベリウスのメッセージを余すところなく伝えた。インキンと日本フィルが深く噛み合い、ついに「渡邊暁雄のシベリウス」の呪縛から解き放たれた記念すべき一夜となった。

## 5)危機管理

ウィーンで「出し切った」反動から、楽団員2人、ステージスタッフ1人が「B型インフルエンザに感染」と診断された。ペスト禍以来、感染症に敏感なオーストリア政府の規制に従い、3人はツアーを離脱して治癒までの間、ウィーン滞在を余儀なくされた。残りのメンバーは翌日、ドイツへ戻りニュルンベルク近郊のフルトに入った。市立劇場に着くと、救急車とパトカーの物々しい「出迎え」を受けた。ウィーンからの連絡が大げさに伝わり、日本フィル一行は危うく「パンデミック(感染症)集団」と認定されるところだったが、誤解はすぐに解け、公演は予定通り行われた。ソリストのビスはフルトが最後。ドイツで唯一のシベリウスの交響曲も成功裏に奏でられた。

## 7)私的な結論

だが、これからは続くベートーヴェンやドヴォルジャークの交響曲シリーズなどを通じ、インキンと現役世代の若い楽員たちが21世紀半ばにかけての新しい日本フィルの文化を築いていく場面である。ツアーで限界を突破した演奏水準を維持しつつ評価と集客力を高め、次のツアーやレコーディングも実現させてほしいと、同行記者は切に願った。

ヨーロッパ公演 報告書より転載いたしました



## 公演日程

2019年4月

- 2日 ヘルシンキ(フィンランド) Musiikkitalo 【Program A】
- 3日 コウヴォラ(フィンランド) Kuusankoskitalo 【Program A】
- 5日 ヴィルヘルムスハーフェン(ドイツ) Stadthalle 【Program B】
- 6日 ヴォルフスブルク(ドイツ) Theater Wolfsburg 【Program B】
- 7日 レーゲンスブルク(ドイツ) Audimax 【Program B】
- 8日 ウィーン(オーストリア) Wiener Musikverein 【Program D】
- 9日 フュルト(ドイツ) Theater Fürth 【Program C】
- 12日 ロンドン(英国) Cadogan Hall 【Program D】
- 13日 リーズ(英国) Town Hall 【Program D】
- 14日 エдинバラ(英国) Usher Hall 【Program C】\*

## 主なプログラム

指揮:ピエタリ・インキンネン【日本フィル首席指揮者】

ピアノ:ジョナサン・ビス ピアノ:ジョン・リル\* チェロ:シェク・カネー=メイソン

### 【プログラム A】

武満徹:弦楽のためのレクイエム  
エルガー:チェロ協奏曲  
シベリウス:交響曲第2番  
※ヘルシンキのみ冒頭にフィンランディア

### 【プログラム B】

ラウタヴァーラ:In the Beginning  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番  
チャイコフスキイ:交響曲第4番

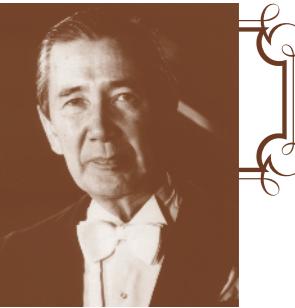
### 【プログラム C】

ラウタヴァーラ:In the Beginning  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番  
武満徹:弦楽のためのレクイエム  
シベリウス:交響曲第2番

### 【プログラム D】

ラウタヴァーラ:In the Beginning  
エルガー:チェロ協奏曲  
武満徹:弦楽のためのレクイエム  
シベリウス:交響曲第2番

# 渡邊暁雄生誕100周年記念



日本フィルの創立指揮者であり、我が国のオーケストラ文化発展に多大なる貢献を果たした渡邊暁雄(1919-1990)が今年生誕100周年を迎えました。

日本フィルの立ち上げに深く関わり、オーケストラの土台を築いた渡邊暁雄を日本フィルは「創立指揮者」として仰ぎ、音楽への深い情熱と人の輪を大切にする精神を受け継ぎながら、今日までの歴史を刻んできました。

渡邊暁雄が生まれた1919年は、日本とフィンランドの外交関係樹立の年でもあります。4月のヨーロッパ公演では日本フィル初フィンランド訪問の悲願が叶い、日本・フィンランド外交関係樹立100周年の記念公演として、ヘルシンキでは前大統領ご夫妻や、前日在フィンランド大使にもご列席いただきました。また首席指揮者ピエタリ・インキンネンの生地コウヴォラでは市政10周年の記念もあわせて華やかに開催されました。

6月22日は彼の命日であり、また日本フィルの創立記念日でもあります。

この特別な日を最後の愛弟子藤岡幸夫の指揮、渡邊ファミリーのピアノ、そして日本フィル協会合唱団のコーラスとともに、日本フィルのテーマ曲ともいえる《フィンランディア》、第1回定期演奏会(1957年)で演奏されたガーシュウィンのピアノ協奏曲、渡邊がその音楽の普及に尽力したシベリウス、マーラー、邦人作品を演奏しました。

公演の第1部には、生前ご親交の深かった上皇上皇后両陛下のご

臨席を賜りました。上皇陛下は学習院中等科ご在学中に渡邊暁雄指揮の演奏会をご鑑賞になったことがあります。また、上皇后陛下は大学生時代から渡邊家とご交流があり、日本フィルハーモニー交響楽団第1回定期演奏会から会員としてご鑑賞になっています。

2時間半にわたるプログラムを通して、その偉大な功績を振り返り、舞台上に飾られた渡邊暁雄の写真に見守られながら、客席もステージも共に、改めて彼が日本の音楽界に果たした多大な影響に思いを馳せました。会場には在日フィンランド大使夫妻をはじめ、フィンランド関連の方々も多く出席いただき、日本とフィンランドの友好の象徴ともいえる渡邊暁雄先生の偉業を偲びました。



会場に展示された写真や資料の前で多くの「アケ先生ファン」が足をとめていました



最後の愛弟子藤岡幸夫指揮、渡邊ファミリー(渡邊康雄、渡邊規久雄、寺田悦子)の共演

## 【渡邊暁雄 略年譜】

| 西暦(元号)・歳  | 年齢  | 経歴   |
|---|---|--|
| 1919(大正8)年<br>1934(昭和9)<br>1943(昭和18)年  | 15歳<br>24歳                                    | 日本人の牧師を父(忠雄)に、フィンランド人の音楽家を母(シーリ)に東京で生まれる。6月5日。東京音楽学校(現、東京芸術大学)器楽科に入学。ヴァイオリンを専攻。東京放送管弦楽団に入団。(~45年)斎藤秀雄、河野俊達、松浦君代と「東京室内楽協会」を結成。  |
| 1945(昭和20)年<br>1948(昭和23)年<br>1950(昭和25)年<br>1956(昭和31)年  | 26歳<br>29歳<br>31歳<br>37歳                      | 東京都フィルハーモニー交響楽団専属指揮者として就任。(~46年)<br>東京フィルハーモニー交響楽団指揮者・常任指揮者を務める。(~54年)<br>米国ジュリアード音楽院指揮科に入学。<br>日本フィルハーモニー交響楽団の創設(6月22日)に参画。初代音楽監督・常任指揮者、常務理事に就任。(~68年)<br>それまで日本樂壇の中心だったドイツ・オーストリア系音楽の枠にとらわれない幅広いレパートリーや斬新な演奏スタイル、日本フィル・シリーズ(日本人作曲家の作品委嘱活動)の創設など、当時の音楽界に大きなセンセーションを巻き起こした。                  |
| 1957(昭和32)年<br>1958(昭和33)年<br>1962(昭和37)年   | 38歳<br>39歳<br>43歳                             | 日本フィル第1回定期演奏会にてガーシュウィン:ピアノ協奏曲を取り上げる。小山清茂:管弦楽のための木挽歌初演。<br>フィンランド政府より「獅子勲章1級騎士賞」を受賞。<br>ステレオによる世界初の「シベリウス交響曲全集」を制作。<br>東京芸術大学指揮科主任教授に就任。  |
| 1963(昭和38)年<br>1964(昭和39)年<br>1969(昭和44)年<br>1970(昭和45)年<br>1972(昭和47)年<br>1977(昭和52)年<br>1978(昭和53)年 | 44歳<br>45歳<br>50歳<br>51歳<br>53歳<br>58歳<br>59歳 | フランス政府より「芸術文学勲章騎士賞」を受賞。<br>日本フィルと共にカナダ、アメリカ31都市34回の演奏旅行を行い空前の大成功を収める。<br>スイスに移住、欧洲各地で客演活動を行う。<br>京都市交響楽団音楽監督・常任指揮者に就任。(~72年)<br>東京都交響楽団音楽監督・常任指揮者に就任。(~78年)都響在任中はマーラーを毎年長期にわたり演奏。<br>フィンランド政府より白薔薇勲章コマンダー賞を受賞。<br>日本フィル音楽監督・常任指揮者に復帰。(~84年)<br>東京都交響楽団名誉指揮者に就任。日本芸術院会員となる。<br>東京芸術大学客員教授に就任。 |
| 1980(昭和55)年<br>1981(昭和56)年  | 61歳<br>62歳                                    | 日本フィル創立25周年企画「シベリウス交響曲全曲演奏会」(日本初)を開催。<br>日本コロムビアより新録音「シベリウス交響曲全集」をリリースし、この録音により第19回レコード・アカデミー賞を受賞する。   |
| 1984(昭和59)年   | 65歳   | 日本フィル創立指揮者の称号を贈られる。<br>広島交響楽団音楽監督・常任指揮者に就任。(~86年)<br>日本シベリウス協会会長・理事長に就任。   |
| 1985(昭和60)年<br>1986(昭和61)年<br>1987(昭和62)年   | 66歳<br>67歳<br>68歳                             | 小林研一郎とともに日本フィルを率いて9ヵ国51日間のヨーロッパ公演を実現、成功を収める。<br>日本フィル、都響の合同による指揮者生活40周年記念演奏会が開催される。<br>日本フィル音楽監督に復帰。<br>東京芸術大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授に就任。<br>津山国際総合音楽祭芸術監督に就任。   |
| 1989(平成1)年<br>1990(平成2)年  | 70歳<br>71歳                                    | 日本フィルにより、古稀を祝うバースデイ・コンサートが開催される。<br>6月22日逝去。<br>7月6日、日本政府より從四位勲三等旭日中綬賞を贈られる。   |

# 「被災地に音楽を」&「東北の夢プロジェクト」

大きな災害の被害を受けた地域の人々に音楽で寄り添う「被災地に音楽を」は、日本フィルが大切にしている活動の一つです。阪神淡路大震災から始まったこの活動ですが、現在はオーケストラが社会において果たすべき役割の一つとして広く認知され、被災者の心に寄り添うだけでなく各地の課題を解決する一助となることを目指し、多岐にわたる活動を各地で展開しています。2019年度は東日本大震災の被災地である東北三県での活動を継続したほか、熊本地震、中国地方豪雨の被災地も訪問しました。中でも東北地方ではこの活動の発展形として「東北の夢プロジェクト」を発足し、第1回のオーケストラ・コンサートを盛岡で実施しました。

## 東北地方沿岸部への訪問

2011年4月以降訪問している東北地方での活動は、2019年度末までに293回を数えました。2019年度も岩手県(宮古市、大船渡市)、宮城県(山元町、石巻市)、福島県(南相馬市、三春町・葛尾村・富岡町、川内村)を訪問し、計9地域で計30回の活動を行いました。宮古市、南相馬市では地元の中高吹奏楽部の指導と共に演を通じて地域の音楽文化の発展を支援しました。山元町では現地の学校が所有しているチェンバロを活用し、地域の文化発信となる音楽プロジェクトを実施しました。川内村では日本航

空株式会社との共同企画により、子どもたちを対象にコンサートとワークショップで世界を旅するイベントを実施しました。クラシック音楽に馴染みの薄い大船渡市では、ヴァイオリン体験付きのミニコンサートを開催しました。石巻市では復興住宅のコミュニティ活性化のためのコンサートを実施しました。三春町、葛尾村、富岡町では音楽鑑賞機会を継続的に作っています。各地の自治体、ホール、学校や地域コミュニティとの連携を深め、地域の課題やニーズを捉えながら事業を計画・実施しています。



10月4日福島県南相馬市原町第一中学校吹奏楽部コンサート



大船渡でのイベント



福島県三春町



福島県川内村

## 東北の夢プロジェクト

これまでの東北地方での被災地支援活動をさらに発展させ、新たな文化レガシーを作り出すことを目指し、東北の子どもたちの夢と未来を応援する「東北の夢プロジェクト」を新たに開始しました。2019年度は、岩手県の沿岸と内陸を結ぶ形でプロジェクトを計画し、宮古高校吹奏楽部(宮古市)と赤澤鎧剣舞(大船渡市)の子どもたちを共演者に招き、盛岡市内でオーケストラ公演を開催し、子どもたちの輝きを多くの人に紹介しました。沿岸部の高齢者を盛岡に招くバスツアーも同時に開催し、社会参加のきっかけを作りました。本事業では慶應義塾大学SFC研究所に外部調査と評価・分

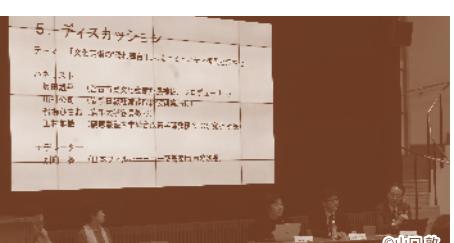
析を委託し、その成果を被災地関係者と外部有識者を招いたシンポジウムで発表しました。また、7月には企画として盛岡市内の赤レンガ館で室内楽公演を開催しました。「東北の夢プロジェクト」では、今後も東北各地のコミュニティの活性化と子どもたちの未来を応援するため、各地の学校で行われている文化活動(吹奏楽、合唱等)や地域の伝統芸能といった文化活動に取り組む子どもたちを共演者に招き、各地の自治体や学校、文化施設や企業等の協力を得ながら、地域内外の交流と新たな文化発信の場を作っていく予定です。



東北の夢プロジェクトよりアンコール



赤澤鎧剣舞



シンポジウム

## 熊本、岡山

熊本への被災地訪問は、3年目。「熊本日本フィルの会」と協働し、金管五重奏で5月に5回、10月に5回、計10回の活動を行いました。また、2018年に発生した中国地方での「西日本豪雨」災害での被災者を対象に岡

山県でコンサートを行いました。日本フィルはこれからも音楽を必要とする場所に積極的に音楽を届けるとともに、各地の状況を広く伝えていくよう努めてまいります。

## 日本フィル「被災地に音楽を」実施一覧(264回～)

【2011年度～2019年度までの延べ実施回数 293回】

| 回数  | 開催日   | 会 場 |      |                   |
|-----|-------|-----|------|-------------------|
| 264 | 5月28日 |     |      | 二子団地西町会館 1回目      |
| 265 | 5月28日 | 宮城県 | 石巻市  | 二子団地西町会館 2回目      |
| 266 | 5月29日 |     |      | 雄勝小学校             |
| 267 | 5月30日 |     |      | こーぶのお家石巻          |
| 268 | 6月29日 | 岩手県 | 盛岡市  | IBC岩手放送           |
| 269 | 6月30日 |     |      |                   |
| 270 | 6月30日 | 岩手県 | 大船渡市 | 防災観光交流センターおおふなばーと |
| 271 | 7月1日  | 岩手県 | 盛岡市  | 岩手銀行赤レンガ館         |
| 272 | 8月6日  | 宮城県 | 仙台市  | 仙台市立生出中学校         |
| 273 | 8月7日  | 岩手県 | 大船渡市 | 大船渡市立大船渡中学校       |
| 274 | 8月10日 | 岩手県 | 宮古市  | 宮古市民文化会館          |
| 275 | 8月11日 | 岩手県 | 盛岡市  | 岩手県民会館            |
| 276 | 8月17日 | 宮城県 | 仙台市  | ユアテックスタジアム仙台      |
| 277 | 8月24日 |     |      |                   |
| 278 | 9月16日 | 福島県 | いわき市 | いわき市立好間中学校        |

| 回数  | 開催日    | 会 場 |      |                          |
|-----|--------|-----|------|--------------------------|
| 279 | 9月28日  | 宮城県 | 仙台市  | ユアテックスタジアム仙台             |
| 280 | 10月2日  | 福島県 | 葛尾村  | 葛尾村立葛尾小中学校               |
| 281 | 10月3日  | 福島県 | 富岡町  | 富岡町立富岡小中学校               |
| 282 | 10月4日  | 福島県 | 三春町  | 三春交流館まほら                 |
| 283 | 10月4日  |     |      | 原町第一中学校                  |
| 284 | 10月5日  | 福島県 | 南相馬市 | 南相馬市民文化会館ゆめはつと           |
| 285 | 10月5日  | 宮城県 | 仙台市  | ユアテックスタジアム仙台             |
| 286 | 10月6日  | 福島県 | 南相馬市 | 南相馬市民文化会館ゆめはつと           |
| 287 | 10月20日 | 宮城県 | 名取市  | 名取市立みどり台中学校              |
| 288 | 11月5日  | 福島県 | 川内村  | 川内村コミュニティセンター<br>かわうち保育園 |
| 289 | 11月5日  |     |      |                          |
| 290 | 11月10日 | 東京都 | 杉並区  | 杉並公会堂                    |
| 291 | 11月25日 | 宮城県 | 山元町  | つばめの杜ひだまりホール<br>宮城病院     |
| 292 | 11月26日 |     |      |                          |
| 293 | 11月30日 | 宮城県 | 仙台市  | ユアテックスタジアム仙台             |

# Playback

プレイバック



PHOTO 1 4月の第6回ヨーロッパ公演では、チェリストのシェク・カネー＝メイソンさん、ピアニストのジョナサン・ビスさん、ジョン・リルさんとご一緒しました。ジョン・リルさんは帰国後の東京定期演奏会でも共演。



PHOTO 6 9月東京定期演奏会。左から山田和樹マエストロ、作曲家の間宮芳生氏、同じく作曲家の大島ミチル氏、そして間宮作品のソリストにして日本フィルの新コンサートマスター田野倉雅秋!



PHOTO 2 5月東京定期演奏会は、オペラ指揮者ラザレフの面目躍如《カラヴァレリア・ルスティカーナ》。カーテンコールの模様。



PHOTO 8 12月東京定期演奏会。指揮者のアレクサンダー・リープライヒさんの指揮のもと、ルトスワフスキの「オーケストラのための書」やR.シュトラウスの「英雄の生涯」などをお届けしました。



PHOTO 3 6月東京定期演奏会のリハーサルは、作曲家の湯浅譲二先生も立ち会われました。インキネンさん指揮で1991年の作品「シベリウス讃~ミッドナイト・サン」を演奏しました。



PHOTO 4 7月横浜定期演奏会より、指揮の西本智実さんとソリストの小林美樹さん。



PHOTO 5 夏休みコンサート第一部より《雷鳴と電光》でステージにはかわいい傘が開きました。

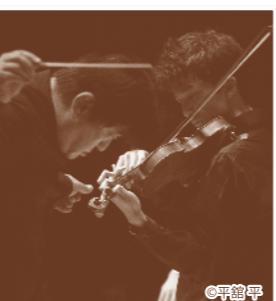


PHOTO 10 1月ニューイヤーコンサートは、久々登場の佐渡裕さんとソリストに山根一仁さんをお迎えして、 Brahms のヴァイオリン協奏曲とシベリウスの交響曲第2番!



PHOTO 11 2月の九州公演。ウェルカム・コンサートでお客様をお迎えします。

# ご支援

2019年度も、法人寄付、個人寄付共に多大なるご支援をいただき深く御礼申し上げます。また、2019年4月になつた13年ぶりの第6回ヨーロッパ公演に対しても法人、個人の皆様から大きなご支援を頂戴しました。厚く御礼申し上げます。

大きなスポンサーを持たない日本フィルは、毎年、できるだけの経費節減をしながら運営を続けています。また、楽団員の待遇はまだ低い水準にあり、改善していく必要があります。しかしながら、楽団員の意識は極めて高く、オーケストラ公演では毎回最高の演奏を聴衆の皆様にお届けながら、教育活動、地域活動にも全力で取り組んでいます。東日本大震災発生直後から続いている「被災地に音楽を」においても、2020年3月末までに293回の演奏を被災地にお届けしました。このような活動を継続、拡大するために、楽団員も自助努力を続ける一方で、日本フィルを安定的に支援していただく仕組みを構築しなければなりません。法人の協賛をはじめとして、まだまだ力を入れる必要がある項目も多くあります。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

## <個人ご支援>

個人の皆様からは、パトロネージュ(個人寄付会員)、サポートーズクラブ、1975年より続く日本フィルハーモニー協会といった様々な会員制度によるご支援に加え、「被災地に音楽を」へのご寄付、第6回ヨーロッパ公演へのご寄付もいただきました。

## <企業・団体ご支援>

企業法人・団体の皆様からは、「特別会員」「九州特別会員」(いずれも寄付会員)をはじめ、継続的なご寄付をいただくと共に、活動全般に対する新たなご寄付も増えております。

また、演奏会等の事業では、東京定期演奏会をはじめとする主催演奏会への協賛(冠協賛、広告協賛)の他、「被災地に音楽を」、さらに第6回ヨーロッパ公演に対するご支援をいただきました。

### 2019年度協賛企業ご芳名

株式会社ウテナ／エレコム株式会社／株式会社カインドウェア／鹿島建設株式会社／社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院／株式会社京王設備サービス／京王電鉄株式会社／株式会社興建社／山久株式会社／大栄不動産株式会社／株式会社チャイルド社／千代田化工建設株式会社／株式会社ティーガイア／東洋時計株式会社／株式会社日清製粉グループ本社／根本特殊化学株式会社／ハウス食品グループ本社株式会社／非破壊検査株式会社／丸美屋食品工業株式会社／FINNAIR/JAPAN AIRLINES／三井不動産株式会社／三菱製紙株式会社／三菱UFJニコス株式会社／武蔵商事株式会社／株式会社ヤカルト本社／株式会社リョーサン／ローム株式会社

## <補助金・助成金・事業委託／共催>

2019年度も「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」対象団体として採択され、東京定期演奏会、横浜定期演奏会に補助金をいただきました。このほか、民間助成団体からも多大な助成をいただきました。

### 2019年度補助・助成ご芳名

＜公的補助＞「文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業)」独立行政法人日本芸術文化振興会  
独立行政法人日本芸術文化振興会「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」  
文化庁「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業(イノベーション型プロジェクト)」  
アーツカウンシル東京「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成(未来提案型プロジェクト支援)」  
＜民間助成＞(50音順)公益財団法人朝日新聞文化財団／公益財団法人アフィニス文化財団／公益財団法人花王芸術・科学財団／グレートブリテンササカワ財団／一般社団法人東京俱楽部／公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団／公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション/The Scandinavia-Japan Sasakawa Foundation  
＜事業委託／共催＞文化庁「文化芸術による子供の育成事業」(委託)／文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」(委託)

## <CD・オリジナルグッズ販売収入>

コンサート会場に来られない方々にも演奏を届けるために、演奏会の録音物のCD制作と販売、普及事業を行いました。

また多くの方々とのコミュニケーションを拡げるため、演奏会場内外での関連グッズの販売を行い、公演の余韻を楽しんでいただきました。

他社との提携によるCD等リリース：

日本フィル・レーベル以外でも、他社との連携により積極的にCDをリリース、日本フィルの演奏を内外に発信しました。2019年度は、ラザレフ指揮の「ショスタコーヴィチ:交響曲第12番《1917年》&第15番」がオクタヴィア・レコードから、小林研一郎指揮、堤剛(チェロ)独奏の「シューマン:チェロ協奏曲 & チャイコフスキイ:交響曲第3番」がマイスター・ミュージックから発売されました。

## Data 会員等 (2020年3月末現在)

| 定期会員        |        |
|-------------|--------|
| 東京定期会員(金・土) | 1,887席 |
| 横浜定期会員      | 1,313席 |
| 法人会員        |        |
| 協賛企業        | 27社    |
| 特別会員        | 230社   |
| 九州特別会員      | 115社   |
| 個人会員        |        |
| パトロネージュ     | 225名   |
| 日本フィル協会     | 1,061名 |
| サポートーズクラブ   | 629名   |

## 2019年度ご支援総計 69,311,607円

※パトロネージュ、日本フィル協会維持会員の皆様のご芳名はp21に掲載致しました。

## 2019年度ご支援総計 117,880,251円

※パトロネージュ、日本フィル協会維持会員の皆様のご芳名はp21に掲載致しました。

## 2019年度公的助成総計 182,754,000円

## 2019年度民間助成総計 50,712,897円

※ご寄付を賜りました企業ご芳名はp19-20に掲載致しました。

## ご寄付いただいた企業のみなさま

[ 東京特別会員、九州特別会員(一部個人含む)、活動へのご寄付他 ]

|                     |                      |                       |
|---------------------|----------------------|-----------------------|
| アイング株式会社            | 鹿島道路株式会社             | 山九株式会社                |
| 赤坂維新號               | かどや製油株式会社            | 三京物産株式会社              |
| アサヒグループホールディングス株式会社 | 株式会社カナック企画           | サントリーホールディングス株式会社     |
| 株式会社アトックス           | 株式会社ガモウ              | 三洋貿易株式会社              |
| 株式会社アドビジネスコンサルタント   | 株式会社カレントセラー          | 医療法人CLSすがはら菅原病院       |
| 株式会社鮎川電工            | 社会医療法人河北医療財団         | ジェネロ株式会社 代表取締役        |
| 株式会社有明新報社           | 川北電気工業株式会社           | 株式会社慈恵実業              |
| 株式会社アル&キャリア         | 川谷医院                 | 宍倉渉税理士事務所             |
| 安心な健やか地域づくりをすすめる会   | 看公税理士法人              | 自然庵                   |
| イーソリューションズ株式会社      | 医療法人起愛会宇佐病院          | 税理士法人柴田 & パートナーズ      |
| 株式会社泉商会             | 医療法人起生会林内科胃腸科病院      | 濱谷工業株式会社              |
| 株式会社泉放送制作           | 北野建設株式会社             | 株式会社じほう               |
| 有限会社和泉屋             | キッコーマン株式会社           | 清水建設株式会社              |
| 稻員興産株式会社            | キヤノン株式会社             | シャボン玉石けん株式会社          |
| 稻畑産業株式会社            | キューピー株式会社            | 株式会社集英社               |
| 井上歯科医院              | 医療法人共生会びろうの樹脳神経外科    | 医療法人秀康会 ましきクリニック耳鼻咽喉科 |
| 今村正人                | 株式会社共同               | 医療法人社団寿量会             |
| 株式会社インフォマート         | 株式会社共立メディカル          | 医療法人春回会井上病院           |
| 有限会社魚半              | 協和キリン株式会社            | 松竹株式会社                |
| 株式会社内田洋行            | キリンホールディングス株式会社      | 浄土真宗本願寺派無量山西導寺        |
| 内野株式会社              | 税理士法人近代経営            | 医療法人松籟会河畔病院           |
| 宇部エクシモ株式会社          | 株式会社きんでん             | 公益財団法人昭和会今給黎総合病院      |
| 宇部興産株式会社            | 熊本朝日放送株式会社           | 昭和電工ガスプロダクト株式会社       |
| 株式会社AIT             | 学校法人熊本壱溪塾学園          | 昭和電工株式会社              |
| 株式会社エイブル & パートナーズ   | 株式会社熊本日日新聞社          | ショーボンドホールディングス株式会社    |
| 医療法人江上耳鼻咽喉科医院       | 株式会社熊本放送             | 医療法人社団仁愛会中村医院         |
| 有限会社江口栄商店           | 医療法人大九曜会こが内科こどもクリニック | 真宗大谷派妙行寺              |
| 株式会社エヌエフ回路設計ブロック    | 株式会社九曜社              | 株式会社進藤木材店             |
| エムエスティ保険サービス株式会社    | 久留米第一法律事務所           | 新菱冷熱工業株式会社            |
| 株式会社エムジー・ケイ         | 株式会社グロッサリー           | 株式会社ジンテック             |
| エムズ九州税理士法人          | グローブ・シップ株式会社         | 医療法人信和会               |
| 株式会社エルイーテック         | 株式会社京王設備サービス         | 杉山商事株式会社              |
| 税理士法人エル・ビーエー        | 京王電鉄株式会社             | 住友商事株式会社              |
| エレコム株式会社 取締役社長      | 京浜急行電鉄株式会社           | 住友ベークライト株式会社          |
| 医療法人社団桜珠会可也病院       | 医療法人敬和会大分岡病院         | 株式会社西武ホールディングス        |
| 株式会社大分銀行            | 株式会社小泉               | 聖マリア病院臨床研究教育学部        |
| 大分県医療生活協同組合         | 晃榮住宅株式会社             | 医療法人誠和会河野産婦人科医院       |
| 大口酒造株式会社            | 医療法人弘恵会ヨコクラ病院        | 株式会社セフティハウス           |
| 大隅ミート産業株式会社         | 株式会社興建社              | 全国保証株式会社              |
| 株式会社大場造園            | コーディ株式会社             | 株式会社センゾー              |
| 株式会社オープハウス          | 株式会社講談社              | 税理士法人創研               |
| 株式会社岡三証券グループ        | 医療法人社団高邦会 高木病院       | 株式会社総本家黒田家            |
| 株式会社お菓子の香梅          | 生活協同組合コープかごしま        | 第一倉庫株式会社              |
| 押瀬クリニック             | 生活協同組合コープみやざき        | 大栄不動産株式会社             |
| 小田急電鉄株式会社           | 医療法人五秀会末永産婦人科麻酔科     | 株式会社泰秀                |
| 小野塾                 | 小島新太郎商店              | 大正製薬株式会社              |
| 公益財団法人才リックス宮内財団     | 医療法人こだま小児科           | 大成ロテック株式会社            |
| 株式会社オンワードホールディングス   | 株式会社コバヤシ             | 大同生命保険株式会社            |
| 花王株式会社              | コンパッソ税理士法人           | 大日本除虫菊株式会社            |
| 株式会社カカクコム           | 株式会社コトブキ             | 大日本塗料株式会社             |
| 公益社団法人鹿児島共済会南風病院    | 株式会社コンサートサービス        | 大日本塗料株式会社福岡営業所        |
| 株式会社鹿児島銀行           | 株式会社佐賀銀行             | 大隆工業株式会社              |
| 鹿児島相互信用金庫           | 薩摩酒造株式会社             | 大和製罐株式会社              |
| 鹿島建設株式会社            | 佐藤製薬株式会社             | 高砂熱学工業株式会社            |
| 鹿島建物総合管理株式会社        | 三機工業株式会社             | 田川信用金庫                |

有限会社但馬屋老舗  
立花税務会計事務所  
田中陸運株式会社  
千代田化工建設株式会社  
株式会社千代田テクノル  
塚本總業株式会社  
公認会計士津田久子事務所  
株式会社鶴屋百貨店  
ディアンドデパートメント株式会社  
株式会社ティーガイア  
学校法人帝京大学  
THK株式会社  
TIS株式会社  
手島薬品株式会社  
株式会社照国計算センター  
株式会社テレビ朝日  
株式会社テレビくまもと  
株式会社電通  
東亜建設工業株式会社  
株式会社東急コミュニケーションズ  
学校法人東京音楽大学  
東京海上日動火災保険株式会社  
東急株式会社  
株式会社東京交通会館  
東京都杉並区  
東京美装興業株式会社  
医療法人藤溪会藤野医院  
医療法人唐虹会虹と海のホスピタル  
医療法人同心会古賀総合病院  
株式会社東北新社  
東洋熱工業株式会社  
戸田建設株式会社  
トヨタカローラ鹿児島株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社トヨタレンタリース鹿児島  
トーターエンジニアリング株式会社  
株式会社永田音響設計  
株式会社永谷園ホールディングス  
中津興産株式会社  
ナクソスジャパン株式会社  
医療法人なごみ会 酒井医院  
名古屋ビルサービス株式会社  
名取法律事務所  
南洲税理士法人  
日新製鋼株式会社  
日鉄興和不動産株式会社  
株式会社ニフコ  
日本技術貿易株式会社  
日本精工株式会社  
日本製鉄株式会社  
日本電子株式会社  
日本パーカライジング株式会社  
株式会社日本マイクロニクス  
株式会社ネイチャーズウェイ  
根本特殊化学株式会社  
野村ホールディングス株式会社  
パイオニア株式会社  
ハウス食品グループ本社株式会社  
株式会社白雲社  
株式会社博報堂  
はざま神経内科・内科医院

ハナマルキ株式会社  
パンパシフィック・カッパー株式会社  
阪和興業株式会社  
東日本住宅株式会社  
東義秀  
株式会社肥後銀行  
非破壊検査株式会社  
ひびき・パース・アドバイザーズ  
税理士法人ひまわりFC  
ひまわり音楽ホール  
平田宗興  
医療法人深川皮膚科  
公益社団法人福岡医療団  
社団福祉法人福岡コロニー  
株式会社福岡ハイヤーサービス  
富国生命保険相互会社  
富士急行株式会社  
富士テレコム株式会社  
株式会社フジテレビジョン  
一般財団法人藤本育英財団  
双葉電子工業株式会社  
古内亀治朗商店株式会社  
古河産業株式会社  
古川康  
フンドーキン醤油株式会社  
株式会社別大興産  
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
保険ネットワーク有限会社  
ホッカンホールディングス株式会社  
株式会社ボニー・キャニオン  
ホンダカーズ佐賀株式会社  
本田技研工業株式会社  
本坊松栄株式会社  
前田憲徳  
マネックスグループ株式会社  
株式会社丸井グループ  
株式会社丸の内よろず  
丸美屋食品工業株式会社  
三井情報株式会社  
株式会社三井住友銀行  
三井製糖株式会社  
三井石油開発株式会社  
三井倉庫ホールディングス株式会社  
三井物産株式会社  
三井物産スチール株式会社  
三井不動産株式会社  
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ  
株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
三菱オートリース株式会社  
三菱ガス化学株式会社  
三菱地所株式会社  
三菱自動車工業株式会社  
三菱重工業株式会社  
三菱倉庫株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
三菱UFJ国際投信株式会社  
三菱UFJニコス株式会社  
三菱UFJリース株式会社  
株式会社南日本放送

株式会社ミヤデン  
医療法人産科・婦人科 宮原クリニック  
医療法人浜江堂油山病院  
社会福祉法人明澈会  
医療法人明徳会佐藤第一病院  
武蔵商事株式会社  
株式会社村田製作所  
明治安田生命保険相互会社  
株式会社明和住販流通センター  
メッドサポートシステムズ株式会社  
株式会社メディアグラフィックス  
株式会社メルコホールディングス  
森社会保険労務士事務所  
株式会社ヤクルト本社  
八代綜合法律事務所  
山崎製パン株式会社  
ヤマトホールディングス株式会社  
株式会社UACJ  
ユウキフーズシステム株式会社  
医療法人友和会  
有限会社幸組  
株式会社夢織  
横河電機株式会社  
米持建設株式会社  
株式会社リガク  
株式会社リョーサン  
株式会社Rings  
株式会社リンレイ  
株式会社LABCO  
社会福祉法人麗風会  
税理士法人れいめい  
株式会社LEOC  
ローム株式会社  
社会福祉法人若楠  
渡辺医院

### 他 匿名

## パトロネージュ[個人寄付]会員ご芳名

(2020年7月15日現在・50音順・敬称略)

|       |      |        |      |           |      |            |      |       |      |
|-------|------|--------|------|-----------|------|------------|------|-------|------|
| 会田 英子 | 東京都  | 奥林 群司  | 東京都  | 佐藤 武男     | 東京都  | 德田 俊一      | 東京都  | 前田圭一郎 | 千葉県  |
| 会田 雅美 | 東京都  | 奥山 敦子  | 東京都  | 佐藤 正昭     | 東京都  | 德田 陽一      | 東京都  | 牧野 澄夫 | 東京都  |
| 浅野 純次 | 埼玉県  | 小山内清孝  | 東京都  | 佐本 光庸     | 神奈川県 | 外山 雄三      | 東京都  | 松尾 譲  | 東京都  |
| 阿部 俊彰 | 神奈川県 | 尾澤 弘久  | 神奈川県 | 澤田 初恵     | 東京都  | 中尾 誠利      | 神奈川県 | 松田 譲  | 東京都  |
| 荒井 昇  | 東京都  | 小野 敏夫  | 東京都  | 島田 精一     | 東京都  | ナガオカケンメイ   | 東京都  | 松本 信義 | 東京都  |
| 荒木 秀隆 | 東京都  | 小野寺けい子 | 岩手県  | 島田 敏生     | 神奈川県 | 中島 奈穂      | 東京都  | 三木恵美子 | 神奈川県 |
| 荒蒔康一郎 | 東京都  | 小野寺健一  | 岩手県  | 島田 晴雄     | 東京都  | 中島美知子      | 東京都  | 三木 繁光 | 東京都  |
| 飯田 恵司 | 東京都  | 小幡 尚孝  | 東京都  | 清水 幸雄     | 千葉県  | 長瀬 雅則      | 東京都  | 峯島 茂之 | 東京都  |
| 飯田 憲  | 東京都  | 小原 道生  | 東京都  | 下河辺美知子    | 東京都  | 仲田 喜義      | 東京都  | 村上 純子 | 埼玉県  |
| 家近 茂  | 東京都  | 折田 正樹  | 東京都  | 下田 英一     | 東京都  | 中西 泉       | 東京都  | 村上 真澄 | 千葉県  |
| 五十嵐重雄 | 東京都  | 風間 沙織  | 神奈川県 | 新庄 茂方     | 大阪府  | 永野 明宏      | 千葉県  | 持田 泰  | 東京都  |
| 池浦 慧  | 東京都  | 賀澤 裕三  | 福島県  | 晋友会合唱団    | 東京都  | 中村 公一      | 東京都  | 元永 徹司 | 神奈川県 |
| 池野 隆光 | 東京都  | 鹿島 英裕  | 東京都  | 菅 千太郎     | 東京都  | 中村 権良      | 東京都  | 森 宏之  | 神奈川県 |
| 池谷 光司 | 東京都  | 片貝 英重  | 東京都  | 杉山 秀子     | 東京都  | 中本 逸郎      | 東京都  | 八木 一郎 | 山梨県  |
| 伊佐山建志 | 東京都  | 片柳 彰   | 東京都  | 杉山 浩明     | 東京都  | 那須 雄治      | 東京都  | 矢倉 俊紀 | 東京都  |
| 石井 榮  | 東京都  | 片山 英二  | 東京都  | 鈴木 庸夫     | 東京都  | 西澤 豊       | 東京都  | 八代 元行 | 東京都  |
| 石澤 卓志 | 千葉県  | 加藤 壱康  | 静岡県  | 鈴木 祐二     | 東京都  | 西村 永湖      | 神奈川県 | 柳田 淑  | 神奈川県 |
| 石塚 邦雄 | 東京都  | 加藤 丈夫  | 東京都  | 住野 公一     | 東京都  | 西村 敬子      | 京都府  | 柳瀬 友則 | 神奈川県 |
| 石橋 雄三 | 神奈川県 | 加藤ひろみ  | 東京都  | 閑 兼英      | 東京都  | 西村 醇子      | 神奈川県 | 谷野 剛  | 東京都  |
| 伊藤 貴博 | 東京都  | 加藤 洋一  | 東京都  | 妹尾 紗子     | 東京都  | 日本フィルハーモニー | 東京都  | 山上 典彦 | 長崎県  |
| 伊藤 昌司 | 東京都  | 金子 修   | 埼玉県  | 宗 神子      | 大分県  | 協会所沢支部     |      | 山口 達之 | 東京都  |
| 稻葉 好正 | 東京都  | 金子 肇   | 千葉県  | 染野 郁郎     | 東京都  |            |      | 山口みどり | 東京都  |
| 犬塚 静衛 | 東京都  | 上條 貞夫  | 東京都  | 染野 宗子     | 東京都  |            |      | 山越 章弘 | 長野県  |
| 井上 俊信 | 東京都  | 上條 淑子  | 東京都  | 高井 延幸     | 神奈川県 |            |      | 山下 芳広 | 北海道  |
| 井上 直人 | 東京都  | 川瀬 範子  | 東京都  | 高木 宏忠     | 東京都  |            |      | 山菅 大地 | 東京都  |
| 井上 浩良 | 東京都  | 河田 義宏  | 東京都  | 高須 幸雄     | 東京都  |            |      | 山田 宏己 | 東京都  |
| 岩瀬 順子 | 神奈川県 | 川畑 雅義  | 東京都  | 高田 信子     | 東京都  |            |      | 山村 隆  | 東京都  |
| 岩田 達明 | 静岡県  | 菊池 和美  | 東京都  | 高橋 信喜     | 東京都  |            |      | 山村 美絵 | 東京都  |
| 上野悦子  | 東京都  | 喜多 稲久江 | 東京都  | 竹下 道夫     | 東京都  |            |      | 山本 高穂 | 東京都  |
| 宇賀神裕子 | 神奈川県 | 北村 篤嗣  | 埼玉県  | 竹中 富知男    | 東京都  |            |      | 針谷 博史 | 東京都  |
| 臼井 潤  | 東京都  | 北村 裕   | 神奈川県 | 田中 稔一郎    | 東京都  |            |      | 油井 直次 | 東京都  |
| 内村 恒彦 | 神奈川県 | 草刈 隆郎  | 東京都  | 田中 宏征     | 兵庫県  |            |      | 吉川 美保 | 東京都  |
| 江頭 啓輔 | 東京都  | 久野 哲男  | 千葉県  | 田仲 博幸     | 東京都  |            |      | 吉川 隆一 | 東京都  |
| 江口 和廣 | 東京都  | 熊谷 朝子  | 東京都  | 田中 將介     | 神奈川県 |            |      | 吉谷恵美子 | 神奈川県 |
| 江口 麗子 | 東京都  | 黒田 築治  | 東京都  | 田村 一      | 山梨県  |            |      | 若井 恒雄 | 東京都  |
| 遠藤 滋  | 神奈川県 | 黒田 真一  | 東京都  | 田村 浩章     | 東京都  |            |      | 渡辺 敏郎 | 東京都  |
| 大石 直輝 | 山梨県  | 畔柳 信雄  | 東京都  | 田村 弘子     | 東京都  |            |      | 渡辺 和子 | 東京都  |
| 大倉 ゆ子 | 東京都  | 好士崎稔子  | 東京都  | 塚本 和久     | 東京都  |            |      | 渡邊規久雄 | 東京都  |
| 大島 剛  | 埼玉県  | 児玉 敏宏  | 東京都  | 塚本 美幸     | 東京都  |            |      | 渡邊 康匡 | 東京都  |
| 太田 五郎 | 神奈川県 | 児玉 玲子  | 東京都  | 鳴井 厚伸     | 東京都  |            |      | 鰐淵美恵子 | 東京都  |
| 太田 達男 | 千葉県  | 小林こずえ  | 東京都  | 津田 義久     | 東京都  |            |      | M.K.  |      |
| 大竹 広明 | 神奈川県 | 小林 裕美  | 東京都  | 積田 孝一     | 東京都  |            |      | 匿名51名 |      |
| 大塚 宣夫 | 東京都  | 五味 康昌  | 神奈川県 | d日本フィルの会  |      |            |      |       |      |
| 大藤 裕康 | 埼玉県  | 酒井 重人  | 東京都  | 寺澤 佳代     | 東京都  |            |      |       |      |
| 大森 京太 | 東京都  | 酒井 和夫  | 神奈川県 | 星 桂太朗     | 東京都  |            |      |       |      |
| 岡本 晋  | 東京都  | 酒井 伸   | 長野県  | 東京フロイデ合唱団 |      |            |      |       |      |
|       |      |        |      | 本田 博      | 熊本県  |            |      |       |      |
|       |      |        |      | 前田 耀史     | 神奈川県 |            |      |       |      |

## 日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名

(2020年7月1日現在・50音順・敬称略)

|       |       |       |       |       |             |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 青木 孝  | 岡登 弘志 | 坂本 博志 | 武井 新  | 野中 和行 | 皆川 文弘       |
| 青木 隆  | 小田倉 正 | 相良 幸男 | 武田 幸子 | 羽生 賢次 | 三好 敦生       |
| 赤星 弥生 | 柏崎 和枝 | 佐々木忠義 | 多田 栄一 | 早川征一郎 | 民放労連関東地方連合会 |
| 荒井 隆志 | 加藤 明  | 佐藤 雅道 | 田中 謙  | 広田 孝志 | 柳瀬 友則       |
| 有田 正治 | 金本 順子 | 佐藤 安雄 | 坪井 憲治 | 深沢 茂実 | 山縣 博        |
| 石澤 卓志 | 神谷 薫  | 澤口佳乃子 | 東保裕の介 | 藤井 行雄 | 山下 芳広       |
| 石田 尚身 | 岸田 正博 | 下山 泰彦 | 富澤 裕  | 藤川 寿彦 | 横瀬 浩        |
| 石田 英雄 | 北宮千恵子 | 鈴木 重澄 | 富田 節子 | 藤村 文二 | 渡辺 勝次       |
| 伊藤 茂雄 | 木村 繁  | 鈴木 重行 | 永井 福枝 | 古川 武志 | 渡辺 政則       |
| 伊藤 正明 | 倉田 茂  | 鈴木 富美 | 長沢 光子 | 古瀬 明弘 |             |
| 岩崎 貞明 | 蔵貫 義朗 | 住江 慶子 | 永田 康  | 本堂 育  |             |
| 海野 尚久 | 小島 鈴枝 | 高田 昌樹 | 中山 泰子 | 増田 文彦 |             |
| 大塚 宏二 | 斎木 典子 | 高津 正徳 | 野田 孝  | 松井 務  |             |

# 楽団紹介

◆創立指揮者 渡邊 曜雄  
 ◆桂冠名誉指揮者 小林 研一郎  
 ◆名誉指揮者 ルカーチ・エルヴィン  
 ◆名誉指揮者 ジェームズ・ロッホラン  
 ◆客員首席指揮者 ネーメ・ヤルヴィ

◆首席指揮者 ピエタリ・インキネン  
 ◆桂冠指揮者 兼芸術顧問 アレクサンドル・ラザレフ  
 ◆正指揮者 山田 和樹

第2ヴァイオリン

加藤 祐一  


第2ヴァイオリン

神尾 あづさ  
  
 川口 貴

第2ヴァイオリン

川口 貴  
  
 川口 貴

第2ヴァイオリン

末廣 紗弓  
  
 Sayumi

第2ヴァイオリン

竹内 弦  
  
 Gen  
 Takeuchi

ソロ・コンサートマスター

木野 雅之  
  
 Miyano

ソロ・コンサートマスター

扇谷 泰朋  
  
 Ogata

コンサートマスター

田野倉 雅秋  
  
 Nishikura

アシスタント・コンサートマスター

千葉 清加  
  
 Chiba

第1ヴァイオリン

太田 麻衣  
  
 Ota

第1ヴァイオリン

九鬼 明子  
  
 Kuroki

第1ヴァイオリン

斎藤 政和  
  
 Saito

第1ヴァイオリン

榊 潤  
  
 Kubota

第1ヴァイオリン

佐々木 裕司  
  
 Sasaki

第1ヴァイオリン

佐藤 駿一郎  
  
 Saito

第1ヴァイオリン

田村 昭博  
  
 Tamura

第1ヴァイオリン

中谷 郁子  
  
 Nakaya

第1ヴァイオリン

西村 優子  
  
 Nishimura

第1ヴァイオリン

平井 幸子  
  
 Hirai

第2ヴァイオリン

竹歳 夏鈴  
  
 Takechi

第2ヴァイオリン

豊田 早織  
  
 Toyoda

第2ヴァイオリン

山田 千秋  
  
 Yamada

ヴィオラ

小俣 由佳  
  
 Oshima

ヴィオラ

小中澤 基道  
  
 Komatsu

ヴィオラ

児仁井 かおり  
  
 Koino

ヴィオラ

高橋 智史  
  
 Takahashi

ヴィオラ

中川 裕美子  
  
 Nakagawa

第1ヴァイオリン

本田 純一  
  
 Honda

第2ヴァイオリン

町田 匠  
  
 Machida

第2ヴァイオリン

遠藤 直子  
  
 Endo

第2ヴァイオリン

大貫 聖子  
  
 Onuki

第2ヴァイオリン

岡田 紗弓  
  
 Okada

ヴィオラ

伊堂寺 聰  
  
 Itoji

チェロ

江原 望  
  
 Echizen

チェロ

大澤 哲弥  
  
 Ochiai

チェロ

久保 公人  
  
 Kubo

チェロ

山田 智樹  
  
 Yamada



# 日本フィルの公益活動を応援してください

## 1. コンサートを聴いて応援する

### [ 東京／横浜定期会員 ]

月に1度のサントリーホール、横浜みなとみらいホールで聴く贅沢な時間。S席年間会員(全10回)の場合、1公演あたり4,800円に!1回券10回購入と比べると約40%お得です。

#### 定期会員6つの特典

- 特典① 専用指定席:会場にお客様の専用指定席ができます。
- 特典② 優先確保:次期シーズンのお席を優先的に確保します。
- 特典③ チケット振替可能:東京定期／横浜定期間でチケットの振替が可能です。ご都合によりご来場できない場合、東京／横浜定期演奏会を同月内の東京／横浜定期演奏会にお振替いただけます。
- 特典④ 優先予約:日本フィル主催公演を一般発売の1週間前からご予約いただけます。
- 特典⑤ 1割引:日本フィル主催公演を1割引でお求めいただけます。
- 特典⑥ ホテル割引:開演前・終演後はお近くのホテル(東京定期:ANAインターコンチネンタルホテル／横浜定期:横浜ベイホテル東急)にてくつろぎの時間ををお過ごしください。

### [ サポーターズクラブ ]

音楽に関心をもつ皆様に「日本フィルのサポーター」として、日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。招待券のプレゼント、日本フィル主催公演チケット優先受付・ご優待(1割引)、会報誌・イベントのご案内などの特典満載。さらにお友達を10人ご紹介いただくと、定期会員券(半期)を進呈いたします。

※クレジットカードで直接申込みいただけます。

<https://www.japanphil.or.jp/support/supporter>



## 2. 個人の寄付で応援する

### [ パトロネージュ(個人寄付会員) ] 寄付(1口・年額)… 3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

\* 税制上の優遇措置を受けることができます。

日本フィルの演奏活動、社会貢献活動をさらに充実させるため、パトロネージュ・システムによる個人の皆様のご支援をお願いしております。

### [ 日本フィルハーモニー協会 ] 寄付(1口・年額)… 一般会員5千円／維持会員2万円／他

\* 金額により税制上の優遇措置を受けることができます。

「日本フィル協会」は1973年の創設以来、「市民とともに歩むオーケストラ」日本フィルを物心両面で支え、地域で楽団員と協力して行うコンサート作りなどユニークな活動を行ってきました。会員と日本フィルをつなぐ会報紙『市民と音楽』『とおんきごう』が隔月でお手元に届くなど特典があります。

### [ オンライン寄付 ]

日本フィルの「被災地に音楽を」ほか、多彩な活動を支えていただくために、温かいご支援を心よりお願いいたします。クレジットカードで簡単に寄付できます。

<https://www.japanphil.or.jp/support/fundraising>



### [ 遺贈 ]

遺贈とは所有されている財産(一部または全部)を遺言によって、公益法人や社会貢献団体に寄付することです。日本フィルでは生前のご寄付のほかに、遺贈も承っております。遺言書の作成、手続きなどは、提携(信託)銀行をご紹介いたします。日本フィルハーモニー交響楽団総務部へご相談ください。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

## 3. クラウドファンディングで応援する

### [ コンサートの聴き手・支え手を広げるプラットフォーム ]

2018年度、クラウドファンディングのプラットフォーム「Readyfor」を通して4つの資金獲得プロジェクトに取り組み、合わせて1,300万円を超えるご支援と、日本フィルの社会的活動を応援して下さる新たな方々との出会いの機会を頂きました。2019年度は、その一つ「親子いっしょに、特別な時間を。ひとり親のご家庭を演奏会へ」プロジェクトで頂いたご支援を原資に、社会的に困難な状況にある東京、京都、岩手の子供と家族を日本フィルのコンサート会場に招待しました。

現在落合陽一×日本フィルプロジェクトvol.4演奏会(2020年秋開催予定)に向け、日本フィル支援のプロジェクトを実施中。また今後も積極的にこの仕組みを活用し日本フィルを支える人々の輪を広げてまいります。



## 4. 法人の寄付・協賛で応援する

### [ 法人寄付(特別会員)・寄付会員 ] 年会費36万円(月3万円)/1口より

演奏活動、教育活動、地域活動への共感、ご理解をくださる多くの企業法人の皆様へご支援をお願いしております。幅広い皆様のお力添えにより、事業の一層の充実を図りたいと願っております。定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。

### [ 協賛 ]

名曲コンサート、サンデーコンサート、第九演奏会など、各種公演を日本フィルとともに盛り上げませんか。協賛公演では、商品の展示も可能です(ホールにより差異あり)。詳細は問い合わせください。

### [ 活動支援寄付 ]

活動全般・特定の事業に対する寄付で日本フィルをご支援ください。

\* 法人寄付は損金算入の枠拡大を利用できます。

## 個人の寄付は税額控除が受けられます!

- 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、税制上、税額控除の優遇措置が受けられます。
- 東京都・杉並区にお住まいの方は個人住民税の寄付金による控除の対象となります。
- 相続により取得した財産の一部または全額を寄付した場合、寄付した財産に相続税が課税されません。

\* 詳しくは国税庁のサイトをご覧ください。